



西中学校だより

令和6年12月11日
東久留米市立西中学校

世界人権デー

校長 小川 高弘

ここ数年、毎年のように、暑さについての記録を更新するニュースが聞かれ、夏が長く、秋が短く、あっという間に冬になるサイクルを繰り返しています。今週から急に気温が下がり、一気に冬が来たように感じます。令和6年度2学期の教育活動も、残り少なくなってきました。台風の影響を受け、行程を大きく変更した3年生の修学旅行から始まった宿泊行事も、1年生、I組と無事に実施することができました。また、2学期の全校行事であるロードレース大会も、晴天と多くの保護者のお手伝いのおかげで、生徒が練習の成果を発揮した行事となりました。2学期の教育活動へのご理解とご協力に感謝いたします。また、先日、今年度の西中学校の教育活動を振り返る「学校評価」の依頼を配布いたしました。次年度以降の西中学校の教育活動のために、ご協力をお願いいたします。

先日の全校朝礼では、「世界人権デー」「人権週間」「子どもの権利条約」について話をしましたので、その一部を紹介いたします。

12月10日は、国連が「世界人権デー」と定めています。それに合わせて、日本では、毎年12月4日から10日までを「人権週間」として、人権尊重の思想を普及し高めようと呼びかけています。では、人権とは何でしょうか？誰もが生まれながらにもっている基本的な権利のことです。私たちは、自由に自分らしく生きる権利をもっています。それは、民族、国籍、性別、年齢、障害の有無に関係なく、全ての人に平等に与えられているものです。しかし、毎日のニュースで貧困や差別、戦争で苦しんでいる人たちのニュースを見たことはありませんか？国内や身近でも、いじめやSNSでの誹謗中傷などのニュースを耳にします。西中でも、いじめや誹謗中傷の話が聞きます。人権と聞くと、大変なことのように感じますが、身近なところから始まります。学校生活でこんなことはありませんか。「クラスメートの意見を無視した。」「誰かの外見や性格を批判したり、笑ったりした。」「困っている人を見て、見て見ぬふりをした。」これはどれも人権の侵害になります。私たちには、自分の意見を言う権利がある一方で、他の人の意見を尊重する責任があります。学校やクラスで誰かの気持ちを無視してしまうと、その人の権利を奪っていることにもなります。「自分がその立場だったら」と想像することが、人権を守る第一歩です。

人はそれぞれ違う考えや価値観をもっています。違いを認め、自然に受け入れ、違いをお互いに認め合えることが重要です。他の人の考えを否定するのではなく、「そういう考えもあるんだ」と受け入れることができると、人権を大切にしている第一歩だと言われています。

子どもにも人権があります。「子どもの権利条約」という国際的なルールがあって、世界の多くの国がこの条約に批准しています。みなさんの生活の中でも、いじめ、差別、暴力、体罰、性暴力、児童虐待は、子どもの人権を侵害するものです。もし、自分がこのような人権侵害に逢いそうになったら、または被害にあってしまったら、一人で抱え込んだり、悩んだりしないで、信頼できる大人に相談してください。信頼できる大人は、人によって、家族だったり、先生だったり、スクールカウンセラーだったり、いろいろな人がいます。自分のことだけでなく、友達のことでも、悩んだこと、困ったことを迷わず知らせてください。

輝け！ 西中 部活動の活躍！

(敬称略)

【ハンドボール部】男子

東京都中学校ハンドボール新人大会 優勝

【第35回伊藤園おーいお茶新俳句大賞】

佳作特別賞	「大空にかかげた決意夏の雲」	2年D組	三小	愛月
	「えんぴつをはしらせていく夏嵐」	2年A組	中林	勇人
佳作	「蛸や球児の涙甲子園」	2年B組	重松	潤

花いっぱい運動

11月19日(火)、西中学校地区青少年健全育成協議会からパンジー、ビオラ、キンギョソウの苗やチューリップの球根をいただき、園芸部が校門の花壇にデザインを考えて植え替えを行いました。校門付近は用務員さんが雑草や低木等を刈り込んで見通しが良くなりきれいになりました。



I組やきいも大会

11月29日(金)、I組では収穫したさつまいもを利用し、西中の落ち葉や枝を集めて体育館前でやきいも大会を行いました。先日行ったロードレース大会の朝練習のお礼として、参加した3年生にやきいもをごちそうしました。



地域清掃

11月30日(土)、PTAと生徒会、整美委員会の共催で地域清掃を行いました。当日は天気も良く、地域のごみ拾いや落ち葉掃きなどを行いました。また土曜日にもかかわらず多くの生徒が参加し保護者のみなさまにもご協力をいただきました。ありがとうございました。

